重点項目についての環境配慮概要 各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目					
"ストップ温暖化しずおか行動計画"の推進(Gloval Warming)							
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①～③工場のため対象外 ④外壁は耐用年数がきたら定期的に塗り替える ④その他更新年数がきたら点検の上必要とあれば取り替える	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				3.2	3.2.2	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
					2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
					2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔
					2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥建物周囲に緑地を設けて敷地内温熱環境の向上をはかる	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑧一部トップライトを設け、建物全周に高窓を設置し自然エネルギーの直接利用をはかる ⑧太陽光発電の設置を予定している	LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制
			2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用
				2.2		⑧	自然エネルギー変換利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪節水型衛生機器を採用する ⑫有害物質を含まない材料を使用し、部材の再利用(躯体+軽鉄+仕上材)を可能とする	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム
					1.2.2	⑪	雑排水利用システム
			2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率
					2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率
				2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材
				2.3		⑫	有害物質を含まない材料
				2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用
				2.5		⑫	部材の再利用可能性
				2.6	2.6.1	⑫	消火剤
					2.6.2	⑫	断熱材
					2.6.3	⑫	冷媒
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) ⑬大型庇を設けたり、緑地帯を確保して地表面温度の上昇を避ける。太陽光発電を設置予定	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)							
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑮吊り配管等は震災時に機能に影響を及ぼさないように耐震性に配慮する	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性
					2.1.2	⑭	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備
					2.4.2	⑮	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑮	電気設備
					2.4.4	⑮	機械・配管支持方法
					2.4.5	⑮	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)							
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり ⑱設備スペースに対応した天井高(屋根高)、階高となっている	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり
					3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮 ⑲敷地内に外灯を設け防犯性に配慮している	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)							
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥建物周囲に緑地を設けている(緑化率25%確保)(工場立地法) ⑳景観条例に基づいた建物としている	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
			2			⑳	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) ⑬大型庇を設けたり、緑地帯を確保して地表面温度の上昇を避ける。太陽光発電を設置予定	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善